

第4回 第3期鶴見・あいねっと策定検討会 議事要旨

日時：平成27年5月14日（木）15：45～17：00

場所：鶴見区役所6階 8号会議室

策定委員：小山委員長、八森副委員長

阿武委員、遠藤委員、大野委員、岡留委員、荻島委員、烏田委員、川合委員、
神保委員、杉浦委員、関口委員、富樫委員、増子委員

事務局：福祉保健センター長、同センター担当部長、福祉保健課長、高齢・障害支援課長、
こども家庭支援課長、生活支援課長、総務部長、地域力推進担当課長、地域力推進担当係長、
区社会福祉協議会事務局長、区福祉保健課、区社会福祉協議会

1 開会

2 議事

(1) 第3回策定検討会の確認について

* 資料3「第3回策定検討会議事録」をもとに説明

→内容に関する質問・意見等なく、ホームページへの掲載について承認

(2) 計画策定スケジュールについて

* 資料4「計画策定スケジュール」

* 資料5「第3期鶴見・あいねっと策定検討会開催日程」をもとに説明。

・11/4（水）15：00～17：00 区役所6階9号会議室…第5回策定検討会

・1/13（水）10：00～12：00 区役所6階10号会議室…第6回策定検討会

（第2回推進委員会と同日）

→内容に関する質問・意見等なく、説明終了

(3) 骨子案について

* 資料6「第3期鶴見・あいねっとの方向性（案）」

資料7「第3期鶴見・あいねっと骨子案に関する意見募集」をもとに説明

・前回の会議との変更点を太字にしている。

・基本理念については、3つ候補を記載している。

①健やかに暮らせてつながりあう「鶴見」へ

→まだ「あいねっと」を知らない人が多い。知らない人が見たときに「あいねっと」が何かを理解できるのが良い点

②安心・健やか・つながる「つるみ」

→前回の会議で、子どもにわかりやすいものがよいという意見があった。子どもにも分かりやすい表現になっている

③たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク

→「あいねっと」の語源になった言葉。まだ認知度の低い「あいねっと」を広めていくためにわかりやすい表現

・前回の議論の中で、健康の持つイメージに人によって差がある、「健康」という言

葉に幅があるのではないかというご意見があった。前回の会議では、「場・機会」は、1つ目の柱「つながりのある地域づくり」に入っていたが、健康に生きがい、心身ともに健康という意味を踏まえて、3つめの柱「健やかに暮らせる地域づくり」に「場・機会」を移動させていただいた。

- ・ 行動目標、具体的取組を落とし込んだ。
- ・ 資料6を整理してまとめたものが、資料7の骨子案の4ページ目に記載されている。
- ・ 骨子案については、6月末まで意見募集を行う。

* 資料8「地区懇談会での意見まとめ」をもとに説明

- ・ 1月から各地区で行われた地区懇談会で出た意見の紹介をキーワードごとに分類したもの
- ・ 検討会で検討した意見と地区懇談会の意見は近いものがでている。地域の人と策定検討会で出ている意見にずれはないように思われる。

* 資料9「区計画フォーマット（案）」をもとに説明

- ・ 今後、第3期区計画を策定した時のフォーマットイメージ
- ・ 具体的な話として表現しにくい部分を、策定検討会や地区フォーラムで出た意見をもとに表現していきたい
- ・ 区役所、区社協、地域ケアプラザの取り組みの詳細も記載していく。

(進行役)

- ・ 資料6について、前回のグループワークであった、「健康」に、生きがいづくりも含めると、その人らしい生き方、生きがいも意識した心身ともに健康ということにつながるのではないかと、というご意見を踏まえて、3つ目の柱「健やかに暮らせる地域づくり」の中に「場・機会」に変更したということ。それ以外にも全体を通してご意見があれば、いただきたい。

(委員)

- ・ 新旧住民間や世代間の交流を進めるとはどういう意味か？言葉が難しい。もうひと工夫した言葉はないか？

(進行役)

- ・ 新旧住民という表現は若いお母さんたちになじみやすいか？

(委員)

- ・ 転入してくる若い世代は多いが、自分たちを新しい住民と思っているか？昔から住んでいる人との交流をあまり意識していないのではないか。

(委員)

- ・ 大型マンションが増えているが、そこに住む人にも地域に入ってもらいたい、という意味だと思うが。

(進行役)

- ・ 具体的取組内容のところにこのような例を挙げ、言葉を工夫したほうが良いと思われる。

(委員)

- ・ 新旧という言葉にひっかかる。旧の人は高齢者。新の人は若い人。新旧を外して、世代間の交流でもよいのではないかと？新旧はなじまない。

(進行役)

- ・ 新しく引っ越してきた人がなじみやすいなどを具体的取組に入れるなど、言葉を工夫するよう検討をしていただきたい。

(進行役)

- ・ 3つ目の柱の健康についてはどうか。

(委員)

- ・ 住民が体操などをしながらお話をするとよいという意見があったが、自分たちも膝痛予防をしながら、お話をしている。生麦第二地区では、そのような居場所が増えてきた。鶴見区内でも増えていくとよい。町会だけで広げていくのは大変であるため、地域ケアプラザと最初は一緒に協力してもらいながら活動が増えていくとよい。

(委員)

- ・ 老人クラブでは、たまり場の活動を活発にしようと、2年前から包括、区役所の保健師、老人クラブと各地区で支えあいマップを作ることになり、取組みは始めている。鶴見区内で居場所ができていくとよい。
- ・ 3つ目の柱に、目指す姿には「心身ともに」があるが、行動目標にはない。心の健康部分も進められるとよい。

(進行役)

- ・ 活力、生きがいについてはよいが、心の健康についてわかりやすい言葉があるとよいという意見だったかと思う。分類を分けて行動目標を振り分けて提示したほうがわかりやすい。検討をしていただきたい。
- ・ 新旧住民の表現についても検討をお願いしたい。

(進行役)

- ・ 基本理念の3つの案についてそれぞれ長所がある。どれがよいか。

(委員)

- ・ 案の③は今まで通り。雰囲気を変えるために、①か②がよい。

(委員)

- ・ 案の②だと言葉を3つ並べているが、推進の柱の3つと流れが一緒でないので違和感がある。案①は読んでわかりやすい。

(進行役)

- ・ 今回新たに入れた「健康」について入っているのは案①と案②。案①の「健やかに」に2つ目の柱の意味が入っている。案②の「安心」に2つめの柱が含まれると考えれば、すべての柱が含まれている。

(委員)

- ・ 案③が「あいねっと」の元の言葉で分かりやすい。今回の新たな柱の「健やかに」を入れて、「たすけあい 支えあい 健やかな 人と人とのネットワーク」はどうか。

(事務局)

- ・ 「健康で住みやすい福祉のまちに！」が第2期の基本理念。「福祉のまち」が理解されにくい部分があった。

(委員)

- ・ どれも目指すところは一緒。あまり長いのはどうか。簡単なものの方がよいのではないか。案①は立派。健やかでなければ助け合えない。

(事務局)

- ・ 「あいねっと」は今までの延長。基本理念は本来頻繁に変えるようなものではない。

→基本理念は、案③「たすけあい 支えあい 人と人とのネットワーク」で決定

(進行役)

- ・ 資料8については、地域の人意見と、この策定検討会との意見にかい離がないか

ということ。みなさんの考えていることとマッチしている。地区懇談会でも同じ意見が出ているという説明だった。

- ・資料9 骨子案については、見やすいデザインで分かりやすく書かれているのではないかと思うが、ご意見があればいただきたい。
- ・地区別の方は写真をいれながら、リアリティのあるものになるよう作成してということ。

(4) 第3期計画の全体構成について

* 資料10「計画の全体構成案」をもとに説明

- ・「委員からのひとこと」については、みなさんへ原稿作成の依頼をさせていただきたいので、よろしく願いしたい。
- ・第2期の冊子と同程度のボリュームで作成していきたい。

(進行役)

- ・入れてもらいたい項目があれば、ご意見をいただきたい。

(委員)

- ・老人クラブは入れてもらえるか？

(事務局)

- ・例えば策定検討会に参加していただいている各関係団体の紹介を記載することも面白いと思うが、どうか。

→各団体の紹介ページを入れることで決定

(進行役)

- ・これ以外にも何かあれば、事務局に案としてあげてもらいたい。
- ・私たちの意見も整理され、一歩進んだ議論になった。フォーラムを生かしながら、地区別、各団体の取り組みを踏まえた議論ができればと思う。

(事務局)

- ・本日みなさんからいただいたご意見を踏まえて、事務局で素案を作成していきたい。今後意見募集を区民の方にかける。いただいた意見を整理して、11月の策定検討会で、素案という形でお示しをし、忌憚のないご意見をいただきたいと思う。

3 閉会

委員長より挨拶

- ・本日の資料には外国人についての記載もあったが、鶴見には外国の方はたくさんおり、今後ますます多くなっていく。横浜市や鶴見区だけでなく日本の国はよいところだと示していけるとよい。

次回：第5回 第3期鶴見・あいねっと策定検討会

日時：11月4日（水）15時～

場所：鶴見区役所6階9号会議室